



神奈川県

KANAGAWA

別添資料

**ラグビーワールドカップ™ 2019 及び東京  
2020 オリンピック・パラリンピック競技  
大会推進かながわアクションプログラム**

**改定版**

**(案)**

**平成 30 年 6 月**

**神奈川県**

## ～目次～

プログラム作成の趣旨	1
プログラムの基本的性格	2
取組分野・施策等の体系	3
I 大会成功に向けた取組み	
1 推進体制の整備	
(1)大会に関する総合調整	5
(2)オール神奈川としての推進体制の整備	6
2 ラグビーワールドカップ 2019 <sup>TM</sup> に向けた取組み	
(1)大会運営に関する取組み	7
(2)横浜市と連携した大会の準備	8
(3)大会に向けた県内の機運の醸成	10
3 東京 2020 大会の機運醸成に向けた取組み	
(1)大会に向けた機運の醸成	11
4 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み	
(1)江の島（湘南港）開催に向けた整備	13
(2)交通・輸送対策	15
(3)地元や湘南港利用者への対応	17
(4)大会に向けた機運の醸成	18
5 東京 2020 大会・野球／ソフトボール競技及びサッカー競技に向けた取組み	
(1)横浜市と連携した大会の準備	20

## II 大会を契機としたかながわプログラム

1 神奈川のおもてなし	
(1)ボランティアの育成	21
(2)事前キャンプの誘致等	23
(3)治安・防災対策	27
(4)医療対策	29
(5)交通網の整備	31
(6)バリアフリー対策	32
(7)来県外国人等への多言語による情報提供	34
(8)グローバルな視野を持つ人づくり	35
2 國際観光地としての魅力向上・発信	
(1)観光客誘致	37
(2)新たな観光の魅力づくり	39
(3)観光の基盤づくり	42
3 神奈川から魅せる文化	
(1)文化プログラムの推進	44
4 オリンピック・パラリンピックの意義の理解促進	
(1)オリンピック・パラリンピックの意義の理解促進	46
5 大会開催を契機としたスポーツ振興	
(1)かながわパラスポーツの推進	48
(2)アスリートの育成	50
(3)スポーツに親しむ環境の整備	55

本文中において、新規に追加した項目には~~新~~、2018年度に取組みを拡充する項目には~~拡~~と記載しています。

## プログラム作成の趣旨

平成 27 年 6 月に東京 2020 オリンピック競技大会セーリング競技の江の島開催が、さらに同年 9 月にラグビーワールドカップ 2019<sup>TM</sup> 決勝戦の横浜開催が、それぞれ決定されたことで、本県は 2 年連続、県内でスポーツのビッグイベントを開催するという絶好の機会を得ることとなりました。

本県では、平成 26 年 8 月に、前年 9 月の東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を受け、「オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン 2020」を策定し、2020 年に向けて世界に誇れる神奈川の姿と、神奈川から東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げていく取組みを示しました。

このビジョンで掲げた考え方は、セーリング競技やラグビーワールドカップの開催決定といった状況の変化を踏まえても、なお、2020 年に向けた本県の取組みの方向性を示すものとして、重要な位置付けを持つものです。

本県としては、ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を成功させるとともに、ビジョンに掲げる考え方に基づいて、全庁をあげて神奈川の魅力を発信し、神奈川から両大会を盛り上げていく必要があります。

そこで、県全体の取組みを計画的に推進するため、大会を迎えるに際して必要な具体的な施策・事業を明らかにする「ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム」を作成することとしました。

今後は、このプログラムに基づき、ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催準備を進めていくとともに、神奈川の魅力を世界に発信していくよう、諸環境の整備を推進します。

## プログラムの基本的性格

### 1 対象期間

平成28年度を初年度とし、32年度を最終目標年度とします（5か年度間）。

ただし、平成31年度（ラグビーワールドカップ2019）を第一目標年度と設定します。

### 2 「ラグビーワールドカップ2019™ 及び東京2020オリンピック・パラリンピック競

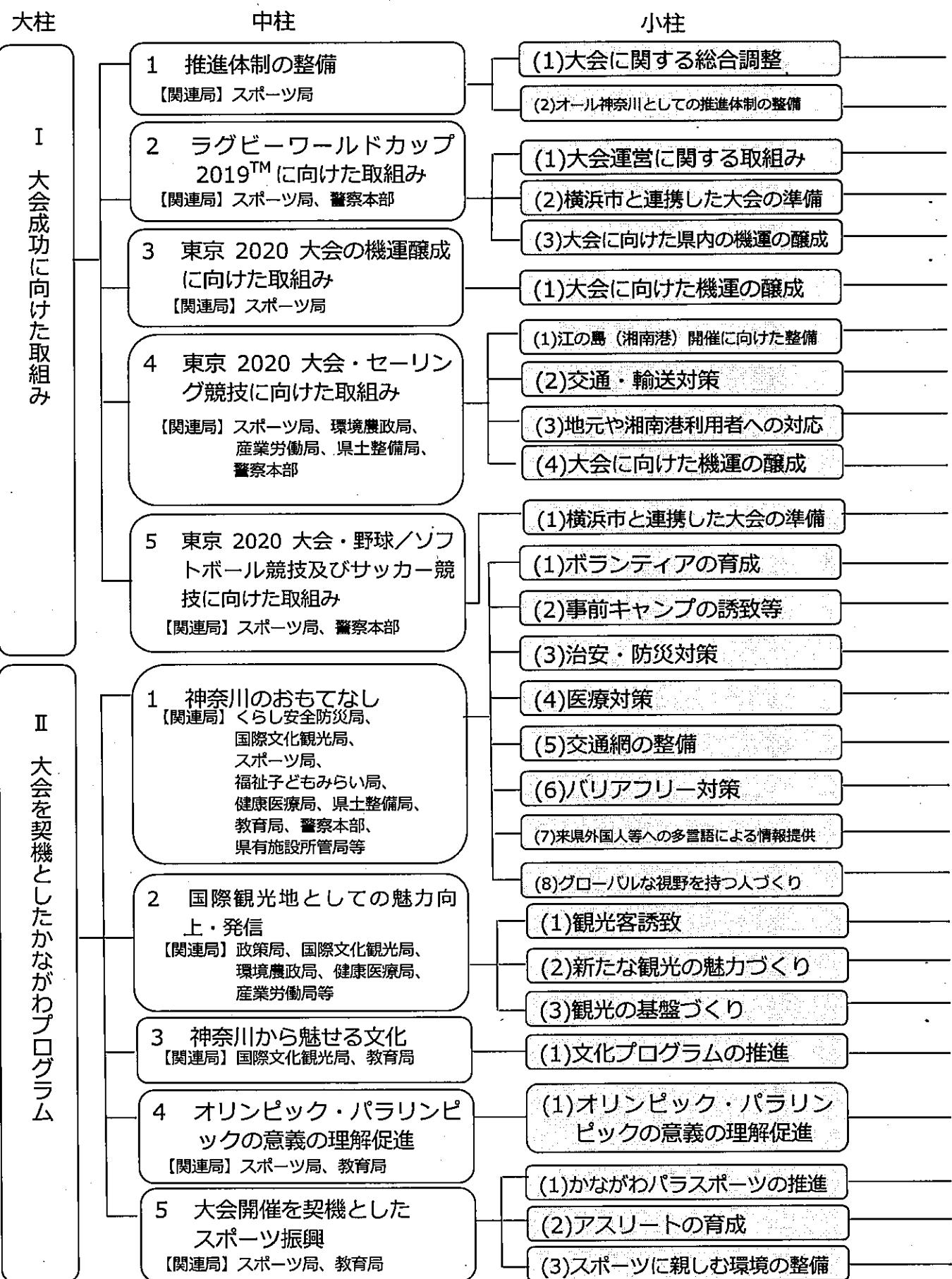
技大会推進かながわアクションプログラム」の見直し

両大会の準備に向けた取組みは、それぞれの組織委員会等との協議調整を通じて今後本格化していくこと、また、大会直前に至るまで、新たな課題の発生が予測されること等から、「ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム」の構成や施策・事業は、必要に応じて毎年度見直すこととします。

### 3 総合計画等との関連

「ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム」は、県の策定する総合計画及び各行政分野毎に策定した個別計画に位置づけた施策・事業のうち、両大会に向けて実施又は拡充・強化を図る施策・事業及び新たに実施を検討する施策・事業を体系化したものとします。

## 取組分野・施策等の体系



## 主な取組事項

①組織委員会などの関係機関との総合調整	P.5
①ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 大会に向けた県内推進体制の整備	P.6
①開催都市分担金の負担等	P.7
①横浜市と連携したラグビー競技の普及啓発、会場整備等、②警備・交通対策等	P.8
①市町村や企業等と連携した普及啓発	P.10
①各種機運醸成の取組み、②聖火リレーに関する取組み	P.11
①会場プランに関する大会組織委員会との調整、②港湾施設等の整備、③レース海面案の調整	P.13
①交通・輸送対策に係る関係団体等との調整、②選手・大会関係者の輸送対策、③観客等の輸送対策、 ④警備・交通対策等、⑤観客等の歩行ルートのバリアフリー化	P.15
①既存艇の移動、②漁業関係者との調整、③地元住民団体等との連絡調整	P.17
①各種普及啓発活動の実施、②神奈川県の選手を中心とした日本人選手への支援、 ③セーリングワールドカップシリーズ江の島大会の支援	P.18
①横浜市と連携した野球／ソフトボール競技及びサッカー競技の開催準備等、②警備・交通対策等	P.20
①大会を支えるボランティアの参加促進、②おもてなしを担うボランティア等の育成・配備	P.21
①各種事前キャンプの誘致等、②ホストタウンの取組み	P.23
①治安対策の推進、②テロ対策訓練、③防災対策	P.27
①熱中症対策、②感染症対策、③公共的施設における受動喫煙防止対策	P.29
①幹線道路等の整備	P.31
①バリアフリーの街づくりの推進、②県有施設のバリアフリー化	P.32
①多言語支援センターかながわによる情報提供、②医療通訳派遣システム事業の推進、③外国人向け医療情報の提供	P.34
①かながわ国際ファンクラブの推進、②コミュニケーション支援ボランティアの育成、 ③外国语教員を対象とした研修の推進、④グローバル人材の育成、⑤人権啓発事業の推進	P.35
①県内を周遊するツアーの企画・商品化、②戦略的プロモーションの推進、③県産品の魅力向上・発信、 ④県産農林水産品の発掘及び販売促進	P.37
①新たな観光の核づくりの推進、②かながわシープロジェクトの推進、③三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進	P.39
①観光案内・観光情報の多言語化、②外国人観光客の動態・ニーズ分析、③Wi-Fi・トイレ等の整備、 ④ホテルの誘致、⑤宿泊施設の多様化の取組み	P.42
①文化プログラムの推進	P.44
①県民へのオリンピック・パラリンピックの意義の理解促進、②学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	P.46
①「かながわパラスポーツフェスタ」等の実施、②学校におけるかながわパラスポーツの普及、 ③障がい者スポーツの普及推進、④健康・生涯スポーツの普及推進	P.48
①体育センターの再整備、②相模湖漕艇場の整備、③伊勢原射撃場の整備、④アスリートの育成支援、 ⑤県内中学校・高等学校における部活動活性化、⑥ナショナルトレーニングセンター拡充施設の誘致	P.50
①3033 運動の推進、②子ども☆キラキラプロジェクト、③スポーツボランティアの育成	P.55

# I 大会成功に向けた取組み

## 1 推進体制の整備

### (1) 大会に関する総合調整

(ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を成功させるため、関係機関と連携・協力します。

(取組内容)

円滑な大会実施のため、各大会組織委員会などの関係機関との調整を図ります。

#### ① 組織委員会などの関係機関との総合調整

○ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な実施に向けて、各大会組織委員会（※）などの関係機関と連携・調整を行います。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○大会に関する総合調整 (スポーツ局)					
大会に関する総合調整（関係機関等との連絡調整）					

（※）各大会組織委員会・・・公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会及び  
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

# I 大会成功に向けた取組み

## 1 推進体制の整備

### (2) オール神奈川としての推進体制の整備

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を成功させるため、地域の市町村や関係団体と一緒に取組みを展開します。

#### (取組内容)

ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、県内推進体制を整備します。

#### ① ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 大会に向けた県内推進体制の整備

○ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、府内に設置した「神奈川県ラグビー・オリパラ・スポーツ施策総合推進本部」により、推進を図ります。

○県、市町村、関係団体で構成する「ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議（ラグビー・オリパラ神奈川応援団）」を設置しました。市町村や関係団体と一緒に、オール神奈川で推進を図ります。



実施スケジュール

ラグビー・オリパラ神奈川応援団総会

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○オール神奈川としての 推進体制の整備 (スポーツ局)					
	「神奈川県ラグビー・オリパラ・スポーツ施策総合推進本部」の設置・運営				
	「ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議（ラグビー・オリパラ神奈川応援団）」の設置・運営				

## I 大会成功に向けた取組み

### 2 ラグビーワールドカップ 2019™に向けた取組み

#### (1) 大会運営に関する取組み

##### (ねらい)

「横浜市・神奈川県」において決勝戦が開催されるラグビーワールドカップ 2019 を成功させるため、大会運営の支援に取り組みます。

##### (取組内容)

大会組織委員会に対して開催都市分担金を拠出するなど、大会運営の支援に取り組みます。

#### ① 開催都市分担金の負担等

○ラグビーワールドカップ 2019 の横浜開催を成功させるため、大会組織委員会が行う大会の準備に係る費用の一部を、予算の範囲内で開催都市分担金等として支出するとともに、人的な支援（平成 30 年度 組織委員会に 2 名、組織委員会地域支部に 1 名派遣）をします。

##### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
○大会運営に関する取組み (スポーツ局)		開催都市分担金等の支出 (大会組織委員会への支出)		
			人的支援	

# I 大会成功に向けた取組み

## 2 ラグビーワールドカップ 2019™ に向けた取組み

### (2) 横浜市と連携した大会の準備

#### (ねらい)

「横浜市・神奈川県」において決勝戦が開催されるラグビーワールドカップ 2019 を成功させるため、横浜市と協力しながらラグビーの普及啓発や警備・交通対策の準備を進めます。

#### (取組内容)

横浜市と連携し、普及啓発や会場整備を進めます。また、大会を通じての警備・交通対策を進めます。

#### 拡 ① 横浜市と連携したラグビー競技の普及啓発、会場整備等

- 共同開催都市の横浜市と連携し、交通・警備やファンゾーンの計画作成、シティドレッシング、ボランティアの募集など大会に向け必要な準備を行うほか、国際試合の誘致、大会 1 年前イベントの開催などにより、大会の機運醸成に取り組みます。



パブリックビューイングの様子



大会 2年前イベントの様子

#### ② 警備・交通対策等

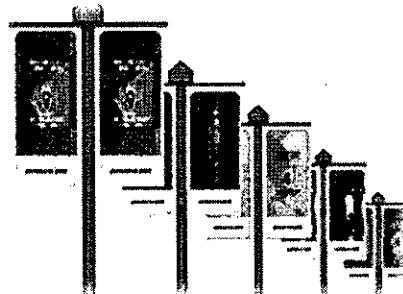
- ラグビーワールドカップ 2019 の成功に向けて、自治体をはじめとする関係機関との連携を強化し、関連情報の収集を図ります。
- テロ等不法事案を防止するための警備諸対策を推進します。
- 大会組織委員会と連携して選手等大会関係者の輸送計画を策定し、計画に基づいた諸対策を推進します。
- 運輸事業者等関係機関、団体等と連携した交通総量抑制対策を推進し、会場周辺の交通円滑化を図ります。

## 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
○横浜市と連携した大会の準備 (スポーツ局、警察本部)		横浜市におけるラグビーの普及啓発及び会場整備等		
		ファンゾーンの計画・準備・運営		
		警備諸対策の推進		
		交通総量抑制対策		
		交通対策の検討・計画策定		

## シティドレッシング

○シティドレッシングとは、大規模イベントのPRなどのために、大型ポスターの掲示や街頭モニターへの動画投影、電飾などで街中を飾り立て、街全体で大会の機運を盛り上げる手法です。



## ファンゾーン

○ファンゾーンとは、大会期間中に、開催都市等に設置されるイベントスペースです。大型スクリーンやラグビ一体験ブース、飲食スペースなどがあり、大会期間中、入場券のない人も試合の雰囲気を楽しめます。



ファンゾーンのイメージ

# I 大会成功に向けた取組み

## 2 ラグビーワールドカップ 2019™ に向けた取組み

### (3) 大会に向けた県内の機運の醸成

#### (ねらい)

「横浜市・神奈川県」において決勝戦が開催されるラグビーワールドカップ 2019 を成功させるため、県内全域において大会の機運を醸成します。

#### (取組内容)

県内市町村や企業等と連携し、県内全域で普及啓発に取り組みます。

#### 拡 ① 市町村や企業等と連携した普及啓発

○県内全域で大会の成功に向けた機運醸成を図るため、市町村と連携し、県内各地でPRイベントやパブリックビューイング等普及啓発イベントを実施します。また、企業・大学等と連携しラグビ一体験イベント等を行います。



観戦バスツアーの様子



ラグビーワールドカップ 2019 チケット発売 PRイベントの様子

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
○大会に向けた県内の機運の醸成 (スポーツ局)				
市町村、企業、大学等と連携した普及啓発活動				

# I 大会成功に向けた取組み

## 3 東京 2020 大会の機運醸成に向けた取組み

### (1) 大会に向けた機運の醸成

#### (ねらい)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を成功させるため、大会全体の機運を醸成します。

#### (取組内容)

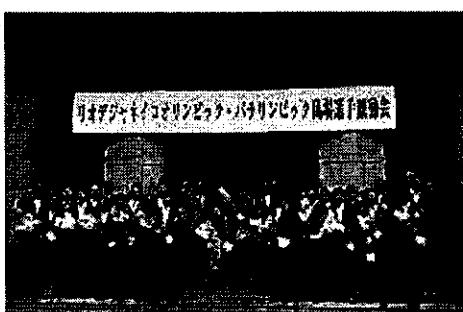
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成のため、各種広報活動を実施します。

また、聖火リレーの円滑な実施に向けて、県内のルート選定やランナーの選考等について検討します。

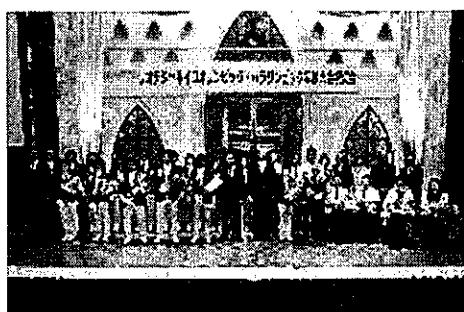
#### 拡 ① 各種機運醸成の取組み

○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会において、県内ではセーリング競技、野球／ソフトボール競技、サッカー競技が開催されることとなっており、3 競技を含めた大会全体の盛り上げを図るため、各種イベント等を実施します。

○ラグビーワールドカップ 2019™と東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が連続して開催されることを契機に、平成 30 年度からの 3 か年をスポーツに関する施策の集中実施期間とし、その期間に両大会の機運醸成等に取り組む市町村（政令市を除く）を、新たな補助制度により支援します。



リオデジャネイロオリンピック・  
パラリンピック競技大会出場選手激励会



リオデジャネイロオリンピック・  
パラリンピック競技大会祝賀イベント

## 新 ② 聖火リレーに関する取組み

○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会における聖火リレーの円滑な実施に向けて、「東京 2020 オリンピック聖火リレー神奈川県実行委員会」を設置し、県内のルート選定やランナーの選考等について検討します。

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○大会に向けた機運の醸成 (スポーツ局)			各種イベント等の実施		聖火リレーに関する取組み

### 聖火リレー

○オリンピック競技大会における聖火リレーとは、ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、きたるオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目を持ちます。

#### ギリシャ（7日程度）

- ギリシャ・オリンピアでの採火式
- ギリシャ国内での聖火リレー
- ギリシャ・アテネでの聖火引継ぎ式

#### 聖火航空輸送

#### 開催国（114日+予備日）

##### 国内空港での聖火到着式

##### 国内聖火リレー

#### 開会式

#### 聖火リレー実施日の流れ

##### 出発式（希望する場合）

聖火ランナー：100人程度／1日  
走行距離：200m程度／1人

##### リレー

##### 車移動

##### リレー

##### 中継地でのイベント（希望する場合）

##### 車移動

##### リレー

##### 中継地でのイベント（希望する場合）

##### 車移動

##### リレー

##### セレブレーション

繰り返し

1日の最終到着地で  
行なうイベント

※組織委員会提供資料を再構成

○パラリンピック競技大会における聖火リレーとは、オリンピックからの移行期間中に勢いや興奮を維持し、人々にパラリンピックの精神および価値を伝える役目を持ちます。過去大会では、7日程度の規模で行われ、イギリス・ストークマンデビルや国内で採火の上、オリンピック聖火リレーよりも小規模で実施されました。

# I 大会成功に向けた取組み

## 4 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み

### (1) 江の島（湘南港）開催に向けた整備

#### (ねらい)

東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技に向けた会場の準備を円滑に進めます。

#### (取組内容)

江の島で開催される東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技に向けた準備を円滑に進めるため、大会運営主体である組織委員会が行う会場プランの策定に向けて、連携・協力していきます。

#### ① 会場プランに関する大会組織委員会との調整

○江の島で開催される東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技に向けた準備を円滑に進めるため、大会運営主体である組織委員会が策定する会場プランの策定に向けて、連携・協力していきます。

#### ② 港湾施設等の整備

○東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の円滑な運営を図るとともに、オリンピック後も国際的な大会の円滑な実施を支え、次代を担うセーラーを育成する拠点とするため、艇整備庫や海面監視室等を備えた新たな施設（セーリングセンター（仮称））や給油施設の整備等に取り組みます。

○東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の成功と、湘南港の機能強化や江の島地域の活性化を図るため、江の島大橋の拡幅整備等を行います。

○湘南港にある艇の移動先を確保するとともに、大会後もセーリングを広く普及させるため、葉山港の船舶保管地を改修します。

○東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の開催に相応しい会場を準備するため、江の島島内のトイレの改修や既存施設の補修を行います。

○その他、セーリング競技の開催に必要な港湾施設等の整備・改修を行います。



江の島イメージ図

### ③ レース海面案の調整

○オリンピックにふさわしい競技運営、観戦客への配慮、漁業への影響等を考慮し、レース海面案について関係機関・団体との調整を進めます。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○江の島（湘南港）開催に向けた整備 (スポーツ局、環境農政局、県土整備局)			※1	※2	※3
※1…テストイベント ※2…テストイベント ※3…本大会			会場プランの大会組織委員会等との調整		
			港湾施設等の整備 ・セーリングセンター（仮称）の整備 (2019 年テストイベントまでに整備予定) ・給油施設の整備（2019 年テストイベントまでに整備予定） ・江の島大橋の拡幅工事（2019 年テストイベントまでに整備予定） ・葉山港の船舶保管地改修（2017 年度で整備完了） ・江の島島内のトイレ改修（2020 年本大会までに整備予定） ・その他、セーリング競技の開催に必要な港湾施設等の整備・改修		

# I 大会成功に向けた取組み

## 4 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み

### (2) 交通・輸送対策

#### (ねらい)

江の島で開催される東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技を成功させるため、会場周辺道路等における交通・輸送対策について、大会組織委員会との調整を進めます。

#### (取組内容)

大会組織委員会が策定する選手・大会関係者・観客等の交通・輸送対策について、関係団体との連絡調整等を通じ、江の島の実情に応じた輸送対策となるよう調整を進めます。また、警備諸対策や交通規制等交通対策を推進するとともに、観客等の歩行ルートのバリアフリー化を進めます。

#### ① 交通・輸送対策に係る関係団体等との調整

○会場周辺の交通・輸送対策について、地元自治体や鉄道・バスなどの公共交通機関、商工会議所、観光協会などをメンバーとして設置した「江の島セーリング競技推進連絡会議」において、交通・輸送対策に関する連絡調整や情報交換を行います。あわせて、大会組織委員会が設置した「神奈川県輸送連絡調整会議」等の場を通じて、交通・輸送対策の調整を進めます。

#### 拡 ② 選手・大会関係者の輸送対策

○選手・大会関係者のストレスフリーで確実な輸送を確保するため、江の島周辺地域の実情に応じ、最適な走行ルートの選定などについて、大会組織委員会と輸送対策の調整を進めます。

#### 拡 ③ 観客等の輸送対策

○多くの観客等の円滑な輸送を確保するため、江の島周辺地域の実情に応じ、最寄駅と競技会場間の歩行ルートの設定などについて、大会組織委員会と輸送対策の調整を進めます。

#### ④ 警備・交通対策等

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、自治体をはじめとする関係機関との連携を強化し、関連情報の収集を図ります。
- テロ等不法事案を防止するための警備諸対策を推進します。
- 開催時期における慢性的な渋滞箇所等の交通状況を調査分析し、必要に応じてオリンピックレーン等路線ごとの交通規制及び会場周辺のエリアによる交通規制等、大会組織委員会と調整するための最も効果的かつ必要最小限度の交通規制計画案を検討します。
- 隣接都県及び関係機関と連携した、広域的な交通総量抑制対策を推進します。

#### ⑤ 観客等の歩行ルートのバリアフリー化

- 最寄駅と競技会場間における観客等の歩行ルートについて、誰にでもやさしいバリアフリー化の現状を確認し、必要な対策を進めます。
- 観客等の歩行ルートに設置されている信号機について、経過時間表示機能付き歩行者用灯具や音響装置付信号機の整備を検討します。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○ 交通・輸送対策 (スポーツ局、県土整備局、 警察本部)			※1	※2	※3
			交通・輸送対策に係る関係団体等との調整		
			大会組織委員会との調整		
			選手・大会関係者・観客等の輸送対策の検討		
			警備諸対策の推進		
			交通規制計画案の検討		
			信号機等交通安全施設整備、更新の検討		
※1…テストイベント ※2…テストイベント ※3…本大会			県管理道路の バリアフリー対策 調査		
			観客等の歩行ルートのバリアフリ ー工事		

## I 大会成功に向けた取組み

#### 4 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み

### (3) 地元や湘南港利用者への対応

(ねらい)

江の島で開催される東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技を成功させるため、地元や湘南港を使用しているヨット等の利用者との調整を進めます。

(取組内容)

セーリング競技実施に伴う湘南港を使用しているヨット等の利用者や周辺漁業等に生じる影響について、地元住民団体や利用者、漁業関係者等との調整を十分に行います。

## ① 既存艇の移動

- 競技実施に伴う既存艇の移動等の影響について、説明・意見交換会の実施や移動についての利用者の意向把握、マリーナ等の受入に関する調査などを実施し、必要な時期に移動が円滑に行われるよう、調整を進めます。

## ② 漁業関係者との調整

- セーリング競技に伴う漁業の影響への対応について、漁業関係者等と調整を進めます。

### ③ 地元住民団体等との連絡調整

- 江の島に生活の基盤がある地元住民団体等と意見交換や情報共有を行い、大会組織委員会等にも地元の意向を伝え、地元と一体となった大会運営を目指します。

## 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
○地元や湘南港利用者への対応 (スポーツ局、環境農政局、			※1	※2	※3
			既存艇の移動		
			利用者説明・調整		
			漁業関係者・大会組織委員会等との調整		
			地元住民団体等との連絡調整		

# I 大会成功に向けた取組み

## 4 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み

### (4) 大会に向けた機運の醸成

#### (ねらい)

江の島で開催される東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技を成功させるため、大会の機運を醸成します。

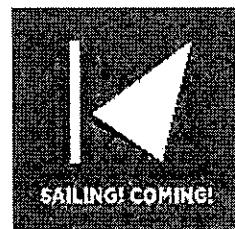
#### (取組内容)

東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技開催に向けた機運醸成のため、広報活動を実施するとともに、神奈川県の選手を中心とした日本人選手への支援を行います。

拡

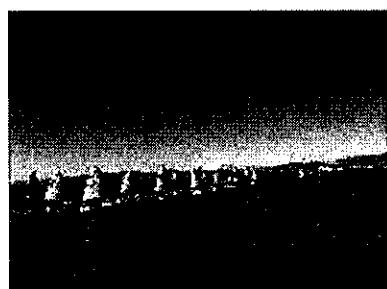
#### ① 各種普及啓発活動の実施

○東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技成功に向け、作成したロゴマーク、ポスター、ノボリ及びイメージ動画等を活用し、セーリングの認知拡大を図ります。



江の島セーリングロゴ

○子どもや障がい者を対象にした海上でのセーリング体験会や陸上でのセーリングに親しめるイベント等を実施し、セーリングの普及啓発に取り組みます。



セーリング競技の様子



セーリング陸上体験イベントの様子



セーリング海上体験会の様子

#### ② 神奈川県の選手を中心とした日本人選手への支援

○国際大会（ワールドカップなど）の江の島開催に協力し、地元と一丸となって盛り上げることで、セーリング人気の向上を図るとともに、日本人選手が海外の有力選手と同じ場所で、練習や試合を行う機会を増やすことにより、日本人選手の競技力向上を図ります。

**新**

### ③ セーリングワールドカップシリーズ江の島大会の支援

- セーリングワールドカップシリーズは、国際セーリング連盟（ワールドセーリング）が主催するオリンピックに並ぶ世界最高峰のレースで、2018年から2020年にかけて3年連続で江の島ヨットハーバーにて開催されます。
- 県は東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技開催に向けた機運醸成の絶好の機会と捉え、大会の運営主体であるセーリングワールドカップシリーズ江の島大会実行委員会に参画し、大会の認知拡大のための広報活動や当日の盛り上げイベントに協力していきます。
- 東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技開催時における、自動運転バスによる来場者輸送の実現に向け、交通事業者との連携のもと、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会開催時に実証に取り組みます。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
○大会に向けた機運の醸成 (スポーツ局、産業労働局)					
各種セーリング体験会の実施					
大会関連イベントの実施					
セーリング動画放映・ポスター掲示					
国際大会（ワールドカップなど）の江の島開催に協力					
自動運転バスによる来場者輸送に向けた取組					

# I 大会成功に向けた取組み

## 5 東京 2020 大会・野球／ソフトボール競技及びサッカー競技に向けた取組み

### (1) 横浜市と連携した大会の準備

#### (ねらい)

東京 2020 オリンピック競技大会において、横浜スタジアムで開催される野球／ソフトボール競技及び横浜国際総合競技場で開催されるサッカー競技を成功させるため、横浜市と協力しながら開催準備や警備・交通対策の準備を進めます。

#### (取組内容)

横浜市と連携し、開催準備等を進めるとともに、警備・交通対策を進めます。

#### ① 横浜市と連携した野球／ソフトボール競技及びサッカー競技の開催準備等

○東京 2020 オリンピック競技大会において、横浜スタジアムで開催される野球／ソフトボール競技及び横浜国際総合競技場で開催されるサッカー競技に向けた開催準備等を、横浜市と連携して取り組みます。

#### ② 警備・交通対策等

○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、自治体をはじめとする関係機関との連携を強化し、関連情報の収集を図ります。

○テロ等不法事案を防止するための警備諸対策を推進します。

○運輸事業者等関係機関、団体等と連携した交通総量抑制対策を推進し、会場周辺の交通円滑化を図ります。

○組織委員会策定の輸送計画に基づいた諸対策を関係機関と連携の上、検討します。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○横浜市と連携した大会の準備 (スポーツ局、警察本部)			横浜市と連携した開催準備等		
			警備諸対策の推進		
			交通総量抑制対策		
			交通対策の検討		

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 1 神奈川のおもてなし

#### (1) ボランティアの育成

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、活躍が期待されるボランティアの育成に努めます。

##### (取組内容)

大会を支えるボランティアへの参加促進を進めるとともに、おもてなしを担うボランティア等の育成・配備及び多くの県民が来県者を迎える取組を開展します。

##### 拡 ① 大会を支えるボランティアの参加促進

○大会組織委員会が募集する大会を支えるボランティアへの参加促進等に向けた取組みに協力します。

##### 拡 ② おもてなしを担うボランティア等の育成・配備

○ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会時に、本県を訪れる観光客、観客に観光・交通案内等をするボランティアの配備に向け、県内市町村等と連携して取り組みます。

○外国人観光客が、安心して快適に、移動・滞在・観光することができる環境を提供するため、おもてなし人材の育成に関する段階別の研修会等を実施します。

○観光ガイド団体等とガイド志望者が交流できるマッチングの場を提供するほか、県内で活動しているガイドを対象に県観光魅力創造協議会が発掘し、磨き上げた、外国人が魅力を感じる県内の観光資源等を紹介する実地研修を実施することで、県全体でのおもてなし環境の整備に努めます。

○県内を訪れるろう者に手話を使った基本的な案内や応対ができるよう、民間事業者や関係機関等に対して手話講習の実施を働きかけます。



おもてなし人材の育成に関する研修会の様子



観光ガイド団体等とガイド志望者が交流できるマッチングの場の様子

**実施スケジュール**

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
○ボランティアの育成  (国際文化観光局、スポーツ 局、福祉子どもみらい局)				大会ボランティアの参加促進	
				おもてなし人材育成のための研修会の企画及び実施	
				民間事業者・関係機関等に対する手話講習の実施の働きかけ	
				観光・交通案内等をするボランティアの 配備に向けた取組み	

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 1 神奈川のおもてなし (2) 事前キャンプの誘致等

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた各国・地域の事前キャンプ等の誘致等により、スポーツ振興、国際交流・理解の促進及び大会機運の醸成などを図ります。

#### (取組内容)

世界のトップアスリートに神奈川の魅力を伝え、県民との交流を実現するため、ラグビーワールドカップ 2019 に係る公認キャンプ地に内定した自治体と協力して取組みを進めます。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る各国・地域の事前キャンプを県内市町村と誘致するとともに、国のホストタウン制度を活用し、各国・地域の選手等と地域住民との交流に取り組みます。

#### ① 各種事前キャンプの誘致等

○ラグビーワールドカップ 2019 の公認キャンプ地として、横浜市と海老名市が内定しました。今後、両市ともしっかりと連携しながら、ラグビーワールドカップ 2019 の成功に向けた取組みを進めます。

○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会について、神奈川県は、全国に先駆けて、県内全市町村と連携し「神奈川 2020 事前キャンプ誘致等委員会」を立ち上げ、多言語による「KANAGAWA 事前キャンプガイド」の作成、各大使館・競技団体への働きかけ等を通じ、事前キャンプの誘致に積極的に取り組んでいます。平成 30 年 6 月現在、エリトリア国、英国、リトアニア共和国、ブータン王国、ブラジル連邦共和国、モルディブ共和国、カナダ、フランス共和国、ミャンマー連邦共和国の県内での事前キャンプ実施が決定しています。

○2020 年に向け、日本国内の自治体間の誘致活動が活発化していることから、県としてより効果的な誘致活動を展開します。



エリトリア国との協定締結の様子



リトアニア共和国との協定締結の様子



ブータン王国との協定締結の様子

## ② ホストタウンの取組み

○平成 27 年9月にエリトリア国との事前キャンプに係る協定を締結し、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町連名でホストタウンに登録されました。また、平成 28 年 12 月には同市町と連名でブータン王国のホストタウンに登録され、平成 29 年 4 月に同国と事前キャンプに係る協定を締結しました。現在、両国のアスリートや関係者との交流等を通じ、地域における SKY プロジェクト（「(S) スポーツの振興」「(K) 教育文化の向上」「(Y) 友好関係の構築」）の取組みを進めています。

○平成 30 年 6 月現在、県及び 6 市 3 町が、10 カ国 のホストタウンとして登録されています。

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○事前キャンプの誘致 (スポーツ局、福祉子どもみらい局)		事前キャンプアンバサダーによる誘致活動			
		事前キャンプに係る視察受入			
			事前キャンプの受入		
		交流事業の実施			

### 事前キャンプ

- オリンピック・パラリンピック競技大会等、大規模で世界的なスポーツ競技大会が開催される際、各国の選手団が時差や気候などが似た環境でコンディションを調整するためのキャンプを一般的に「事前キャンプ」といい、通常、大会前や選手村等に入村する前の 1 ~ 2 週間行われます。
- 事前キャンプを実施するチームの公開練習やアスリートと地域との交流事業の実施等により、スポーツ振興や国際交流・国際理解の進展が期待されるとともに、世界各国のメディアがキャンプ地等を取材することにより、地域の知名度向上や観光等の産業振興も期待されます。

<東京 2020 大会に係る県内の事前キャンプ決定状況（平成 30 年 6 月現在）>

	自治体名等	相手国	協定締結日
1	県・小田原市・箱根町・大磯町・星槎グループ	エリトリア	2015.9
2	横浜市・川崎市・慶應義塾大学	英国（オリンピック）	2016.2
3	県・平塚市	リトアニア共和国	2016.10
4	県・小田原市・箱根町・大磯町・星槎グループ	ブータン王国	2017.4
5	相模原市	ブラジル連邦共和国	2017.6
6	葉山町	英国	2017.7
7	小田原市	モルディブ共和国	2017.10
8	県・相模原市	カナダ	2018.1
9	鎌倉市	フランス共和国	2018.4
10	県・小田原市・箱根町・大磯町・星槎グループ	ミャンマー連邦共和国	2018.4
11	横浜市・川崎市・慶應義塾大学	英国（パラリンピック）	2018.5
12	県・平塚市	リトアニア（パラリンピック）	2018.5

## 事前キャンプアンバサダー

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた各國・地域の事前キャンプ誘致活動をより強化するため、平成29年4月「KANAGAWA事前キャンプアンバサダー」の任命式を行いました。
- アンバサダーにはロサンゼルスオリンピック体操競技金メダリストの具志堅幸司さんと、パラリンピック水泳競技で過去5大会に出場し、多くの金メダルを獲得された、成田真由美さんにご就任いただきました。
- お二人には、主に各國・地域の競技団体のキーパーソン等との面会時におけるPRや、各國・地域の競技団体等が県内施設を視察に訪れる際のアドバイス等を実施していただきたいと考えています。



任命式の様子

## ホストタウン

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の参加国・地域と全国の自治体とが人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ立国・共生社会の実現、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、政府が推進している取組みです。特に、パラリンピアンとの交流をきっかけに、共生社会の実現に向けた取組を推進するホストタウンを「共生社会ホストタウン」といいます。
- 各自治体は、相手国・地域と2020年以降も見据えた交流計画を作成し、ホストタウンとして登録を受けます。交流計画には、「大会参加のため来日する選手・関係者と住民」、「大会参加国の関係者と住民」、「日本オリンピアン・パラリンピアンと住民」が交流する計画を含んでおり、相手国・地域とのスポーツでの交流だけでなく国際交流や地元の観光振興も期待できます。

<神奈川県の自治体でホストタウンに登録されている計画（平成30年6月現在）>

	相手国	登録県・市町
1	エリトリア国、ブータン王国	県・小田原市・箱根町・大磯町
2	英国、チュニジア、イスラエル	横浜市
3	英国	川崎市 ※
4	リトアニア共和国	平塚市・県
5	ニュージーランド	厚木市
6	モルディブ共和国	小田原市
7	英国	葉山町
8	ブラジル連邦共和国、カナダ	相模原市



エリトリア国との交流の様子

※ 平成30年5月、川崎市は英国の共生社会ホストタウンとしても登録された。

## SKY プロジェクト

- 神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町及び星槎グループは、平成27年9月にエリトリア国と、平成29年4月にブータン王国と、平成30年4月にミャンマー連邦共和国と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事前キャンプに関する協定を締結しました。
- 協定に基づき、各国との交流等を通じて、地域におけるスポーツの振興（S）、教育文化の向上（K）及び友好関係を構築（Y）する「SKYプロジェクト」の各種取組を進めています。
- これまで、エリトリア国やブータン王国の選手を招き、県内の幼稚園や小学校などを訪問していただきたり、イベント等で各国を紹介する展示を行ったりと、関係市町・星槎グループと協力し、SKYプロジェクトを実施しています。



SKY プロジェクトの様子

## カナダボート協会、ミャンマー連邦共和国との協定等の締結

- 平成30年1月、カナダボート協会から強化部長をお迎えし、相模原市、日本ボート協会とともに県立相模湖漕艇場を拠点とする事前キャンプの覚書締結式を行いました。
- また、平成30年4月には、ミャンマー連邦共和国オリンピック委員会から事務局長をお迎えし、小田原市、箱根町、大磯町、星槎グループとともに事前キャンプに関する協定締結式を行いました。
- さらに、平成30年5月には、平塚市とともにリトアニア共和国パラリンピック委員会と協定を締結しました。
- 引き続き、市町村等と連携し、事前キャンプの誘致に取り組んでまいります。



カナダボート協会との覚書締結式の様子



ミャンマー連邦共和国との協定締結式の様子

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 1 神奈川のおもてなし

#### (3) 治安・防災対策

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、本県を訪れる各国の選手や関係者、国内外からの旅行者の安全・安心を確保するため、治安対策を推進します。

##### (取組内容)

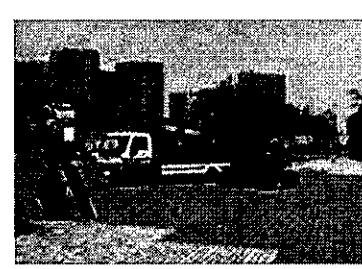
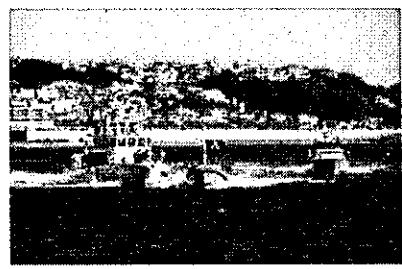
本県の治安対策を推進するとともに、テロ対策の訓練を実施します。また地震・津波等の防災対策も同時に推進します。

#### ① 治安対策の推進

- ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う関連情報の収集・分析を強化し、県民をはじめ本県を訪れる各国の選手や関係者、旅行者等の安全・安心を確保するための各種対策を推進するとともに、関係機関・団体、企業、地域住民等と緊密に連携し官民一体型のテロ対策を推進します。
- サイバー空間の脅威に対処するため、重要インフラ事業者等との共同対処訓練による対処能力の向上を図るなど、対策を強化します。

#### ② テロ対策訓練

- テロ等緊急事態の発生に備え、迅速的確に対処して被害の拡大を防止するため、テロや大規模災害等を想定して、部隊の対処能力を強化するとともに、関係機関と連携して訓練に取り組みます。

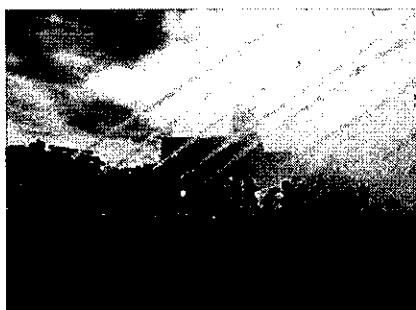


国民保護訓練の様子

テロ対策訓練の様子

### ③ 防災対策

○大規模災害発生時の初動対応における救出救助や救急医療等を主体とした実践的訓練「ビッグレスキューかながわ」や、海浜利用者等への津波情報の伝達及び関係各機関の相互連携体制の強化などを目的とした「津波対策訓練」を実施し、災害時の応急活動体制を強化するなど、「災害に強いかながわ」を目指した取組みを一層推進します。



ビッグレスキューかながわの様子

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
テロ災害対策、サイバー攻撃対策等の推進					
災害対応力の強化					
○治安・防災対策 (くらし安全防災局、 スポーツ局、警察本部等)					

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 1 神奈川のおもてなし

#### (4) 医療対策

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、本県を訪れる各国の選手や関係者、国内外からの旅行者が、健康に不安を感じることなく滞在できるよう対策を実施します。

##### (取組内容)

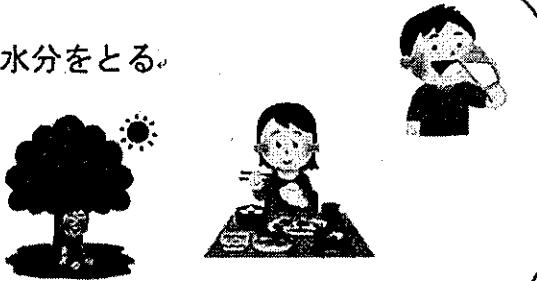
熱中症や感染症の予防対策を進めるとともに、感染症指定医療機関の機能強化、感染症発生状況の調査・集計体制及び検査体制の強化や、患者の搬送等訓練の実施等により、感染症が発生した場合、安全で迅速な対応ができるよう対策を検討します。

#### ① 热中症対策

- 熱中症を未然に防ぐための予防対策に取り組みます。
- 日本の気候に慣れていない国外からの旅行者に向けて、熱中症予防のポイントや予防方法等について、情報発信するとともに、注意喚起します。

##### 熱中症にならないために

- のどが渴いていなくても、こまめに水分をとる。
- 十分な睡眠と食事に気をつける。
- 外出時は、日差しを避ける。
- 屋内を涼しくする。



#### ② 感染症対策

- 感染症を流行させないよう予防対策に取り組みます。
- 各国の選手や関係者、国外からの旅行者に向けて、必要に応じて予防方法や注意喚起等、情報提供を行い、感染症対策を進めます。
- 感染症患者を受け入れる感染症指定医療機関の再整備を支援するなど、感染症病棟の機能の充実を図ります。
- 県内で感染症患者が発生した場合に備え、保健所、医療機関等関係機関が連携して感染症発生状況の調査・集計体制及び検査体制の強化を図るほか、患者の搬送等訓練を行い、安全かつ速やかに患者搬送が実施できる体制を整備します。

### ③ 公共的施設における受動喫煙防止対策

○各国の選手や関係者、国内外からの旅行者を受動喫煙による健康への悪影響から守るため、公共的施設における受動喫煙防止対策を進めます。

○各国の選手や関係者、国内外からの旅行者が、自らの意思で受動喫煙による健康への悪影響を防止できるよう、受動喫煙防止対策の取組みを発信します。



神奈川県受動喫煙防止条例  
キャンペーンのロゴマーク

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○医療対策 (国際文化観光局、スポーツ局、健康医療局等)					
			熱中症予防の普及啓発・注意喚起		
		感染症対策の推進、各国選手や国外旅行者に対する情報提供、注意喚起			
			公共的施設における受動喫煙防止対策の周知・徹底		
				各国選手や関係者、国内外からの旅行者に対する本県の受動喫煙防止対策の発信	

## II 大会を契機としたかながわプログラム

## 1 神奈川のおもてなし

## (5) 交通網の整備

(ねらい)

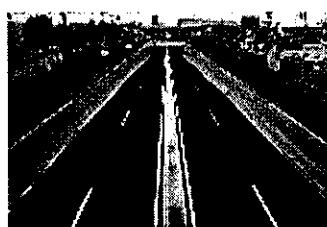
ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を受け、道路や鉄道など、交通ネットワークの充実や既存インフラの活用を推進します。

(取組内容)

幹線道路ネットワークの整備を図るとともに、スマートインターチェンジの整備促進などにも併せて取り組みます。

## ① 幹線道路等の整備

- 自動車専用道路やインターチェンジ・観光地などにアクセスする道路の整備を重点的に進めます。
  - 幹線道路ネットワークを最大限活用するため、スマートインターチェンジの整備、局所的な渋滞対策、観光地表記などの分かりやすい道路案内標識の整備に取り組みます。
  - 幹線道路の整備に伴い、信号機のＬＥＤ化、道路標識及び道路標示の高輝度化等交通安全施設の整備を推進します。



国道 129 号戸田交差点



新東名高速道路 海老名南JCT付近

## 実施スケジュール

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 1 神奈川のおもてなし

#### (6) バリアフリー対策

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、段差解消や幅広歩道の整備など、誰にでもやさしいバリアフリーの街づくりを推進します。

##### (取組内容)

バリアフリーの街づくりを推進するとともに、県有施設のバリアフリー化に取り組みます。

#### ① バリアフリーの街づくりの推進

○道路や公園のほか、商業施設、医療施設などの公共的施設について、国内外からの旅行者を含め、誰もが安全かつ快適に利用できるよう、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例で定める整備基準への適合を求めます。

○交通・建築関係団体や障がい者団体などから構成する神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議によるバリアフリーフェスタなどの普及啓発事業を行います。

○タクシー事業者や福祉有償運送事業者が、福祉タクシー車両を購入する費用の一部を補助し、障がい者、高齢者や外国人観光客など、誰もが容易に移動できる環境を整備します。



バリアフリーフェスタの様子

#### ② 県有施設のバリアフリー化

○県有施設について、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例の整備基準に沿った施設整備を行うなど、バリアフリー化を進めます。

**実施スケジュール**

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
○バリアフリー対策 (福祉子どもみらい局、県有施設所管局)					
みんなのバリアフリー街づくり条例に基づく事業者との協議					
バリアフリー街づくり推進県民会議による普及啓発等					
福祉タクシー車両の導入促進					
県有施設のバリアフリー化					

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 1 神奈川のおもてなし

#### (7) 来県外国人等への多言語による情報提供

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、外国籍県民や本県を訪れる外国人が安心してくらし、快適に旅ができるよう、多言語による情報提供を推進します。

##### (取組内容)

多言語支援センターかながわの運営や医療通訳派遣システム事業の活用により、来県外国人等に医療等の円滑な情報提供に取り組みます。

#### ① 多言語支援センターかながわによる情報提供

- 日本語を母語としない外国籍県民や来県外国人のため、保健医療・子育て支援・災害などに関し、多言語による情報支援を行う拠点として多言語支援センターかながわを運営します。
- 災害時等において、緊急に提供することが必要な情報を多言語化します。



多言語支援センターかながわの様子

#### ② 医療通訳派遣システム事業の推進

- ベトナム語などボランティア通訳者が不足している言語について、通訳者を確保するため、引き続き募集を強化します。
- 多言語支援センターかながわと連携するなど、より確実に通訳派遣を行えるようシステムのさらなる拡充を図り、持続可能なシステムの構築を検討します。



医療通訳派遣の様子

#### ③ 外国人向け医療情報の提供

- 外国人旅行者がスムーズに医療機関にアクセスできるよう、国と連携して訪日外国人旅行者の受入が可能な医療機関の情報を発信します。

##### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○来県外国人等への多言語による情報提供 (国際文化観光局、健康医療局)					
		多言語支援センターかながわによる情報支援			
			医療通訳派遣システム事業の推進		
				広報媒体を活用し、医療機関の情報を発信	

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 1 神奈川のおもてなし

#### (8) グローバルな視野を持つ人づくり

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、県民の誰もがグローバルな視野を持ち、行動できる人づくりを推進します。

##### (取組内容)

かながわ国際ファンクラブを活用した神奈川に親しみを持つ国内外の外国人のネットワーク化やグローバル化に対応した教育の推進など、将来を見据えた人づくり、人的ネットワークづくりに取り組みます。

#### ① かながわ国際ファンクラブの推進

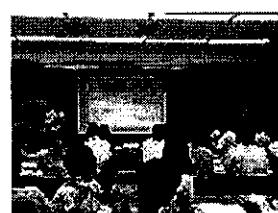
○かながわ国際ファンクラブでは、神奈川の魅力的な情報を発信、交換し、人と人との交流を進め、世界と神奈川をつなぐネットワークをつくり、神奈川に親しみを持つ国内外の外国人の方々や、その方々を支える人々とともに活力ある神奈川をつくることを目指しており、ホームページやフェイスブックを活用した情報発信や、KANAFAN STATION の運営、会員相互の交流会の開催等に取り組みます。



かながわ国際ファンクラブの様子

#### ② コミュニケーション支援ボランティアの育成

○言語だけではなく、文化的背景の相違も理解して外国人観光客や外国籍県民等をサポートできる人材を育成するため、コミュニケーション支援ボランティア養成講座を実施します。



講座の様子

#### ③ 外国語教員を対象とした研修の推進

○児童・生徒のコミュニケーション能力の向上や多文化理解等を促進するため、外国語教員を対象とした語学に関する専門的な研修や、授業力向上など専門性を高める研修を実施します。

○英語教員の英語力や指導力等を一層向上させるため、国際バカラレア認定推進校の教員を含め、海外派遣研修等の取組みを推進します。



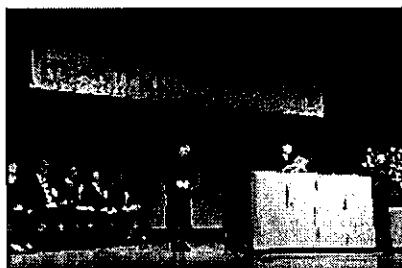
研修の様子

#### **拡 ④ グローバル人材の育成**

○生徒の英語力向上をめざして、英語資格・検定試験の活用促進、国際交流の促進、外国语指導助手の全校配置、グローバル教育研究推進校におけるグローバル化に対応した先進的な教育の推進などに取り組むなど、英語によるコミュニケーション能力を高め、国際的な視野を持ち、多様な価値観を受容できる力の育成を図ります。

#### **⑤ 人権啓発事業の推進**

○国籍・文化・民族等を問わず、誰もが個人として尊重される  
地域社会づくりを進めるため、国、市町村、企業、関係団体  
等と協働・連携して、人権意識の啓発に取り組みます。



ハートフルフェスタの様子



人権メッセージ展の様子



人権教室の様子

#### **実施スケジュール**

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○グローバルな視野を持つ 人づくり (国際文化観光局、福祉子ども みらい局、教育局)					
			かながわ国際ファンクラブの推進		
			コミュニケーション支援ボランティアの育成		
			外国语教員を対象とした研修の実施		
			グローバル人材の育成		
			人権啓発事業の推進		

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 2 國際観光地としての魅力向上・発信

#### (1) 観光客誘致

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019<sup>TM</sup> 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、観光客の一層の増加を図ります。

##### (取組内容)

観光資源の発掘・磨き上げや戦略的プロモーションの推進、県産品の魅力向上・発信などを通じて、多くの観光客の誘致に取り組みます。

#### ① 県内を周遊するツアーの企画・商品化

- 神奈川ならではの地域資源を磨き上げ、これらの観光資源を盛り込んだ魅力的な周遊ルートを設定します。
- 旅行業者が、国内外からの来訪者に向けた周遊型・滞在型体験型ツアー（スポーツツーリズムなど）を企画・商品化する取組みを促進します。



体験型ツアーの例（川崎競馬場・川崎市）

#### ② 戦略的プロモーションの推進

- 国際観光戦略にかかる基本コンセプトを構築していくとともに、観光客に神奈川の魅力を伝えるコンテンツの制作・発信を行うなど、外国人観光客のニーズに合った戦略的なプロモーションを実施します。

#### 拡 ③ 県産品の魅力向上・発信

- 外国人目線も加えた新たな「かながわ名産」を選定し、アンテナショップ「かながわ屋」を中心に、県産品の魅力を広く発信します。



アンテナショップ「かながわ屋」

#### ④ 県産農林水産品の発掘及び販売促進

- 神奈川を代表する農林水産品のブランドイメージの定着とさらなるイメージアップを図り、販売促進につなげます。
- 潜在的な魅力を持った農林水産品を発掘し、ブランド化に向けて取り組みます。



かながわブランドのロゴ



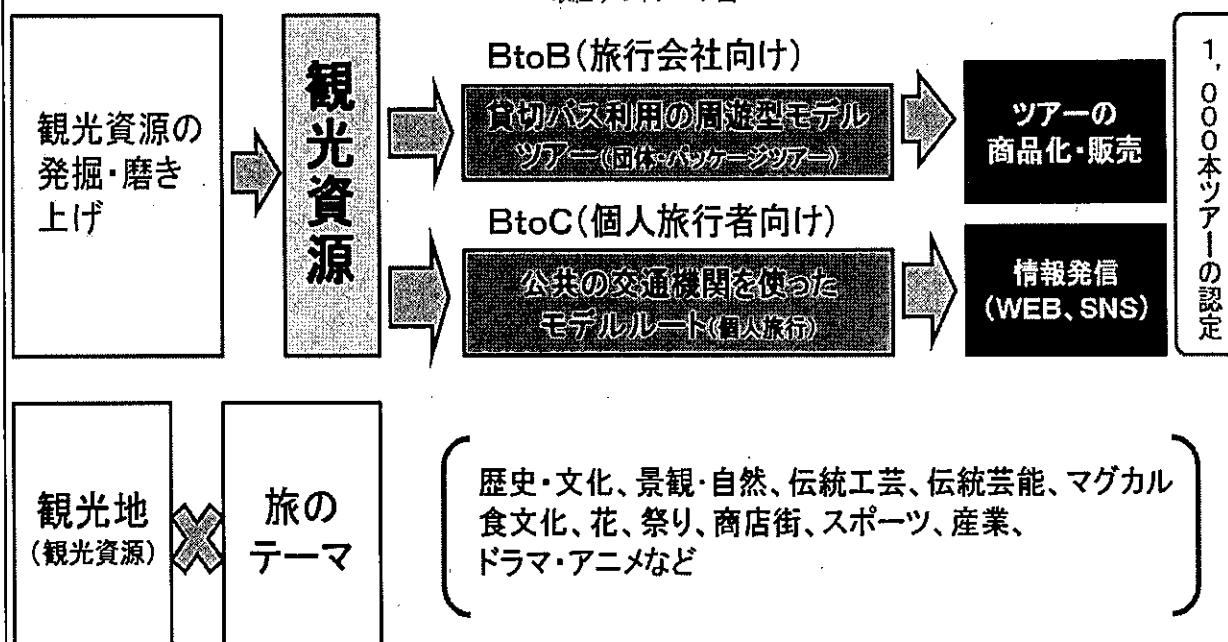
本県で育成したかんきつ  
「湘南ゴールド」

## 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
○観光客誘致 (国際文化観光局、環境農政局)	○県内を周遊するツアーの企画・商品化 (国際文化観光局)				
	県内を周遊するツアーの企画・商品化				
	○戦略的プロモーションの推進 (国際文化観光局)				
	戦略的プロモーションの推進				
○県産農林水産品の魅力向上・発信 (国際文化観光局)			名産100選の見直し		
	新名産を含めたかながわ産品の一層の魅力発信、販路開拓				
○県産農林水産品の発掘及び販売促進 (環境農政局)					
	代表的な県産農林水産品のブランドイメージの向上、さらなる販路拡大				
	潜在的な農林水産品の発掘とブランド化に向けた取組み				

## 県内を周遊するツアーの企画・商品化の取組み

取組みのイメージ図



- 県が旅行業団体、宿泊関係団体、交通事業者等と協議会を設置し、発掘した地域の観光資源を周遊する滞在型・体験型のツアーや、観光関連事業者の提案するモデルルート等を認定することにより、1,000件のツアーカーの企画・商品化を目指します。
- 本協議会は、ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議の観光部会としての機能を担うものです。

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 2 國際観光地としての魅力向上・発信

#### (2) 新たな観光の魅力づくり

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、地域資源を活かした地域活性化を推進します。

##### (取組内容)

横浜・鎌倉・箱根に続く第4の国際観光地を目指す「新たな観光の核づくり」を推進します。また、神奈川の海に多くの観光客を呼び込む「かながわシープロジェクト」や、「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を推進することにより、新たな観光の魅力づくりに取り組みます。

#### ① 新たな観光の核づくりの推進

- 横浜・鎌倉・箱根に次いで、海外にも強力に発信できる魅力的な新たな観光の核づくりを進めるため、企業や市町村などから、その実現のための構想やプロジェクトを募集し、有識者を含む「アドバイザリー委員会」による助言を得ながら、優れたものを新たな観光の核づくりの構想地域として平成24年度に認定しました。  
認定地域では、地域の特徴ある資源を活用し、地元の盛り上がりとともに、民間資本の投資を誘引するよう取り組んでいます。
- 県は、構想の着実な実現に向けた支援を行うとともに、知事によるトップセールスをはじめとした積極的なPRを展開しています。



神奈川県作成 PR ポスター



神奈川県作成各地域 PR 動画

#### ② かながわシープロジェクトの推進

- 民間の自由な発想や斬新なアイデアを取り入れて神奈川の海を盛り上げるというコンセプトのもとに、平成26年度に民間の様々な分野のメンバーから構成された「かながわシープロジェクト・プロデュース会議」が設置され、報告書が取りまとめられました。  
この報告書の中で示された方策に沿って、マリンスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、その魅力や海の楽しみ方をパッケージにして発信する「Feel SHONAN」キャンペーンを展開し、国内外から多くの観光客を呼び込みます。

### ③ 三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進

○三浦半島らしさにこだわった地域活性化策を講じて、三浦半島地域の人口減少対策に取り組むため、県と三浦半島の4市1町が連携して、平成28年3月に「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を策定しました。

このプロジェクトの方向に沿って、地方創生の取組みを重点的に展開し、変化に富んだ海岸線や豊富な歴史的文化遺産、農水産業など、三浦半島地域の潜在的な資源の魅力を磨き上げ、三浦半島全体の新たな活力を生み出します。



三浦半島でのイベントの様子

#### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
○新たな観光の魅力づくり (政策局、国際文化観光局等)					
新たな観光の核づくり構想の推進					
海の魅力の発信、海の魅力づくりの推進					
三浦半島の地域資源の魅力増加					

#### 新たな観光の核づくり

○神奈川県では、城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域を新たな観光の核づくりの構想地域として認定し、その実現に向けて地域を盛り上げ、地元と一体となって、新たな観光地づくりを進めています。

○平成26年度には、「新たな観光の核づくり等促進交付金」を創設し、平成29年度まで、それぞれの構想において先導的な役割を果たす事業に対して重点的な支援を行いました。

○平成30年度においても同様の交付金事業を実施し、構想の早期実現に向けて取り組んでいます。

##### 【交付決定事業】

H26：7事業 68,000千円

H27：6事業 75,000千円

H28：4事業 75,000千円

H29：7事業 44,640千円

##### 【交付金で整備したものの例】



葉巻型ベンチ（大磯）



こま参道の手すり（大山）



ハイキングコース  
(城ヶ島)

## かながわシープロジェクト

○平成 26 年度に民間の様々な分野のメンバーから構成された

「かながわシープロジェクト・プロデュース会議」が設置され、  
計 8 回の会議が開催されました。



○会議で出された様々な意見やアイデアは、報告書に取りまとめられ、  
当面、次の 6 つの方策に沿って、神奈川の海の盛り上げにつながる  
具体的な取組みを進めていくべきとの方向性が示されました。

<報告書で示された 6 つの方策>

方策 I : 海外に向けた P R の強化

方策 II : 湘南ブランドの再構築・活用

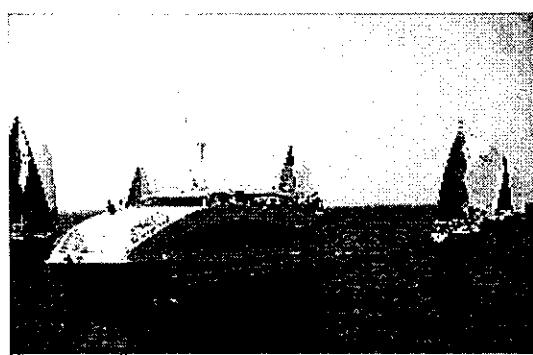
方策 III : 漁業とマリンスポーツの新たな関係の構築

方策 IV : マリンスポーツの裾野拡大

方策 V : 海辺のライフスタイル・カルチャーの打ち出し

方策 VI : 漁港の多目的利用

○現在、上記 6 つの方策に沿って、「Feel SHONAN」をキャッチフレーズにしたウェブサイトなどによる神奈川の海の魅力の発信、マリンスポーツをはじめとした SHONAN の海の魅力と特性を組み合わせたイベントの実施、県内各地のマリーナにおけるヨットフェスティバルの開催、神奈川の海からしか見ることのできない景観を観光コンテンツとして活用した新たな観光（海洋ツーリズム）の展開などの取組みを進めています。



ヨットフェスティバルの様子

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 2 國際觀光地としての魅力向上・發信

#### (3) 観光の基盤づくり

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、誰でも快適に旅ができる環境づくりに取り組みます。

##### (取組内容)

観光案内・情報の多言語化を進めるとともに、トイレや Wi-Fi の整備、ホテルの誘致などを推進し、観光の基盤づくりに取り組みます。

##### ① 観光案内・観光情報の多言語化

○外国語観光情報ウェブサイトを運用するとともに、周辺の観光情報などを多言語化して、インターネットやパンフレットを活用した情報提供を行うことにより、外国人観光客の周遊性を高め、旅行満足度の向上を図ります。



外国語観光情報ウェブサイト  
(Tokyo Day Trip -Kanagawa Travel Info-)  
<https://trip.pref.kanagawa.jp/>

##### ② 外国人観光客の動態・ニーズ分析

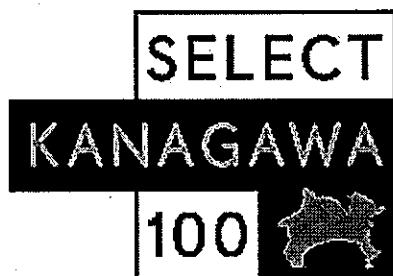
○外国人観光客が自国の携帯電話や Wi-Fi 等で通信した際の位置情報を活用し、周遊した地域やルート、季節、時間帯、国籍等の動態分析を行うことにより、外国人観光客のニーズに応じたプロモーションの実施を目指します。

##### ③ Wi-Fi・トイレ等の整備

○外国人観光客の受入環境整備を目的として、県有施設及び県内の観光関連施設等における、Wi-Fi 整備や案内板の多言語化、トイレの洋式化等の取組みの推進を図ります。

#### ④ ホテルの誘致

○企業誘致施策「セレクト神奈川100」において、一定の要件を満たす場合に、土地・建物・設備への投資額に対する補助金の交付や不動産取得税の軽減、低利融資により、ホテルの誘致を行います。



「セレクト神奈川100」のロゴマーク

#### ⑤ 宿泊施設の多様化の取組み

○海外からの旅行者への多様な宿泊ニーズに対応できるよう、県条例の改正等を行いました。引き続き、適正な運営が行われるよう指導・監督を行い、健全な民泊の推進を図ります。

##### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
○観光の基盤づくり (政策局、国際文化観光局、健康医療局、産業労働局)			観光案内・観光情報の多言語化		
			外国人観光客の動態・ニーズ分析		
			Wi-Fi整備や案内板の多言語化、トイレの洋式化等		
		「セレクト神奈川100」の実施			
			宿泊施設の多様化の取組み		

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 3 神奈川から魅せる文化

#### (1) 文化プログラムの推進

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019<sup>TM</sup> 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進します。

##### (取組内容)

市町村や関係団体などと連携しながら、マグカルのブランドイメージのもと、オール神奈川で、神奈川の文化プログラムの推進に取り組みます。

#### ① 文化プログラムの推進

○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会や、その前年に開催されるラグビーワールドカップ 2019 では、訪日外国人をはじめとした多くの観光客が本県を訪れます。この機会に多くの方々に本県の文化芸術の魅力に触れていただけるよう、県内市町村とともに、ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議の文化プログラム推進部会として、「神奈川県オリパラ文化プログラム推進協議会」を設置し、オール神奈川で文化芸術を発信するなど、文化プログラムを推進します。

○この取組みを一過性のものとして終わらせるのではなく、レガシー（遺産）として大会後も継続的な振興、発展につなげるための仕組みづくりに取り組みます。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○文化プログラムの推進 (国際文化観光局、教育局)					
		神奈川県オリパラ文化プログラム推進協議会の運営			
			神奈川の文化プログラムの実施 ・文化ホール等での公演の開催 ・美術館・博物館等での展覧会などの実施		

## 文化プログラム

- 文化プログラムとは、「オリンピック憲章」に定められ、スポーツ競技とともに開催国の義務となっている文化関連行事です。
- 文化プログラムの実施は、近年、前のオリンピック・パラリンピック大会終了後から次の大会終了までの複数年にわたり取り組まれており、文化芸術に関わるパフォーマンスや展示、舞台公演などが行われます。
- 神奈川の文化プログラムは、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会終了後から実施しています。

## マグカル

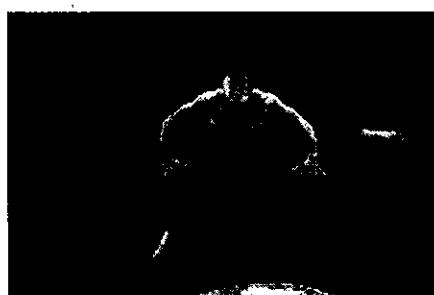
- マグカル（マグネット・カルチャー）とは、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいを創出する県の取組みです。



かながわ リ・古典プロジェクト



神奈川県美術展



A O SHOW (ア・オー・ショウ)

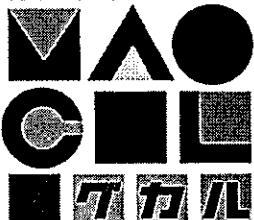


マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー公演



神奈川フィルハーモニー管弦樂團

神奈川文化プログラム



神奈川文化プログラムのマーク

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 4 オリンピック・パラリンピックの意義の理解促進

#### (1) オリンピック・パラリンピックの意義の理解促進

##### (ねらい)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、オリンピック・パラリンピックの意義を県民に広く伝えるための取組みを推進します。

##### (取組内容)

県民を対象としたイベントなどにおいて、オリンピック・パラリンピック出場経験者等の講演の実施や、オリンピック出場経験者の派遣などの取組みを進めるとともに、学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進に取り組みます。

#### ① 県民へのオリンピック・パラリンピックの意義の理解促進

- 県民を対象としたイベントなどにおいて、オリンピック・パラリンピック出場経験者等から直接、一人ひとりの個性を尊重し支えあう大切さなどを語ってもらう機会を設けるなど、オリンピック・パラリンピックの意義を県民に広く伝えていきます。
- 公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）と自治体が、スポーツを通じた人づくりなどで連携する仕組みである「JOCパートナー都市協定」を締結し、この協定に基づき、国際競技力向上やスポーツ振興などで相互に支援と協力を行います。

#### ② 学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進

- 全ての子どもたちが、運動・スポーツの意義や価値等を理解し、関心を持つことで、主体的に運動・スポーツに参画（「する」「観る」「支える」等）できるよう、かながわらしいオリンピック・パラリンピック教育の推進を図ります。
- オリンピック・パラリンピックをテーマに、スポーツの素晴らしさや体力つくりなどを学ぶことができる学習教材と教員の指導用資料を、すべての学校で活用できるようにしています。
- 県立学校及び市町村立学校（政令市を除く）の全校が、オリンピック・パラリンピック教育に取り組む学校として、大会組織委員会により「よい、ドン！スクール」の認証を受けたことを契機に、一層、各学校におけるオリンピック・パラリンピック教育を推進します。

## 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
イベントにおける普及啓発					
○オリンピック・パラリンピックの意義の理解促進 (スポーツ局、教育局)					JOC パートナー都市協定による取組み
オリンピック・パラリンピック教育の推進					

## オリンピック・パラリンピックの意義

- トップアスリートが世界最高のパフォーマンスを繰り広げるだけでなく、スポーツを通じ、選手をはじめたくさんの人々がそれぞれの「違い」を越え、認め合うことで、平和な社会を目指すことにあります。

## JOC パートナー都市協定

- JOC と各都市（都道府県または市）が、トップアスリートの選手強化やオリンピック・ムーブメント（※）推進等のために、相互に支援と協力をを行う制度です。
- 自治体側はスポーツを通じた人づくり、JOC 側はトップアスリートの選手強化や JOC が行うオリンピック・ムーブメント（※）推進事業への自治体の協力など、相互にメリットがあるものとなっています。
- 神奈川県は平成 29 年 4 月に協定を締結し、全国で 25 番目の締結都市となりました。

< JOC パートナー都市一覧（平成 29 年 7 月現在）>

	締結都市		締結都市		締結都市		締結都市
1	大阪市	8	東京都	15	帯広市	22	福山市
2	長野市	9	北海道	16	秋田県	23	北九州市
3	福岡県	10	札幌市	17	秋田市	24	加賀市
4	福岡市	11	横浜市	18	川崎市	25	神奈川県
5	広島市	12	広島県	19	高崎市	26	埼玉県
6	熊本県	13	兵庫県	20	千葉県		
7	熊本市	14	神戸市	21	太田市		

### ※ オリンピック・ムーブメント

「スポーツを通してここからだを健全にし、さらには文化・国籍といったさまざまな違いを越え、友情や連帯感、フェアプレーの精神をもって互いを理解し合うことで、平和でよりよい世界の実現に貢献する」という考え方を広げていく活動



JOC パートナー都市協定締結の様子

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 5 大会開催を契機としたスポーツ振興

#### (1) かながわパラスポーツの推進

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、すべての人が自分の運動機能を活かしてスポーツを「する」「観る」「支える」こと=「かながわパラスポーツ」を推進します。

##### (取組内容)

「かながわパラスポーツフェスタ」等のイベントを実施するとともに、学校におけるかながわパラスポーツの普及を進めます。また、誰もがライフステージに応じてスポーツに親しむことができるよう、生涯スポーツや障がい者スポーツの普及・推進に取り組みます。

#### ① 「かながわパラスポーツフェスタ」等の実施

○障がい者スポーツについての県民の理解を深め、すべての人がスポーツをする喜びや仲間ができる楽しみを実感できるよう、「かながわパラスポーツフェスタ」を開催するとともに、市町村等が開催するイベント等で障がい者スポーツの体験会等を実施するなど、「かながわパラスポーツ」を推進します。

#### ② 学校におけるかながわパラスポーツの普及

○県立高等学校等において、パラスポーツのアスリートを招いた体験授業等を実施することによって、「かながわパラスポーツ」への理解促進を図ります。



パラスポーツ体験授業の様子

#### ③ 障がい者スポーツの普及推進

○障がい者がスポーツ活動を行う機会を増やすため、県障がい者スポーツ大会等の各種競技会を開催するとともに、障がい者スポーツ指導員等の障がい者スポーツを支える人材を育成します。

○より多くの県民の皆さんに障がい者スポーツへの関心を高めてもらうため、東京 2020 パラリンピック競技大会において活躍が期待される神奈川育ちのパラリンピアンの育成・強化の支援等を行います（目標：神奈川県育ちの選手 20 人の出場）。



障がい者スポーツの様子

#### ④ 健康・生涯スポーツの普及推進

○県民の誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で豊かな生活ができる生涯スポーツ社会の実現のため、子どもの遊びの奨励や高齢者に適したスポーツの普及等を通じて、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。また、市町村と連携し、世代を超えてスポーツを楽しめる機会の拡大に取り組みます。

##### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○かながわパラスポーツの推進 (スポーツ局、教育局)	「かながわパラスポーツフェスタ」等の実施				
	小・中・高校における かながわパラスポーツの実施				
	県立特別支援学校におけるパラスポーツ用具の整備・スポーツ教室の実施				
	県障がい者スポーツ大会の実施・障がい者スポーツ指導員等の育成				
	パラリンピアンの育成				
	ライフステージに応じた様々なスポーツ活動の推進				

#### かながわパラスポーツ

○県では、平成 27 年 1 月に「かながわパラスポーツ推進宣言」を発表し、パラスポーツを「障がいのある人がするスポーツ」という考え方から一歩進め、「すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えること=『かながわパラスポーツ』」と捉え、3 つの取組みを推進しています。

##### 1 パラリンピアンから学びます

パラリンピアンが自身の運動機能の限界に挑む姿から、体を動かすノウハウや創意工夫、諦めない心、できるようになる喜びを学びます。

##### 2 「かながわパラスポーツ」を実践します

年齢、障がいなどを越えて、スポーツをする喜びや、仲間ができる楽しみを実感できるよう「かながわパラスポーツ」を実践します。

##### 3 パラリンピック競技大会を盛り上げます

「かながわパラスポーツ」を実践することで、2020 年に東京で開催されるパラリンピック競技大会を神奈川から盛り上げていきます。



車椅子バスケットボールの様子

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 5 大会開催を契機としたスポーツ振興

#### (2) アスリートの育成

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019<sup>TM</sup> 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、若手を中心とした県内アスリートを育成することにより、競技力の向上を図ります。

##### (取組内容)

県内アスリート育成等のための拠点となるよう、体育センターの再整備を進めます。また、両大会で「神奈川育ちの選手」として活躍が見込まれる有望アスリートを対象とした支援をするとともに、県内の中学校・高等学校における部活動活性化にも取り組みます。

#### ① 体育センターの再整備

○昭和 43 年の開設以来、約 50 年が経過し、老朽化が顕著になっている体育センターについて、県内アスリートの競技力の向上や「未病を改善する」取組み、かながわパラスポーツ推進宣言に則った対応を図るとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプにも活用できるよう、全ての県民のスポーツ振興拠点として、2020 年（平成 32 年）3 月の完成を目指して再整備を進めます。併せて、隣接する総合教育センターと一体的整備を進めます。

#### 拡 ② 相模湖漕艇場の整備

○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプや大規模大会を誘致し、相模湖漕艇場を核としたスポーツ・観光拠点づくりに取り組むため、現行の 1 km コースから 2 km コースへの整備等を進めます。

#### 新 ③ 伊勢原射撃場の整備

○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプや全国規模の競技大会の誘致を行うため、ライフル射撃場エアライフル射場の紙標的 26 台を電子標的に更新します。

#### ④ アスリートの育成支援

○東京2020オリンピック競技大会に、神奈川県育ちの選手40人の出場を目指し、日本スポーツ振興センター（JSC）トップアスリートを除いた県内の有望選手、指導者及び指導者講習会開催団体を対象に助成金を交付します。

## ⑤ 県内中学校・高等学校における部活動活性化

- 参加した誰もが満足できる部活動及びより多くの生徒  
    が参加できる部活動をねらいとして「環境整備の推進」  
    「指導体制の充実」「参加促進」の観点から様々な施  
    策に取り組みます。

○部活動強化支援として、特定の種目ごとに強化拠点校を定め、テクニカルコーチ等の専門的指導者を派遣し、定期的な強化練習会を行うことで、才能ある生徒を発掘するとともに、競技力・表現力向上を目指します。



## 部活動の様子

#### ⑥ ナショナルトレーニングセンター拡充施設の誘致

- 拡充施設の誘致に向け、横須賀市と連携し、関係機関への働きかけなどに取り組みます。

## 実施スケジュール

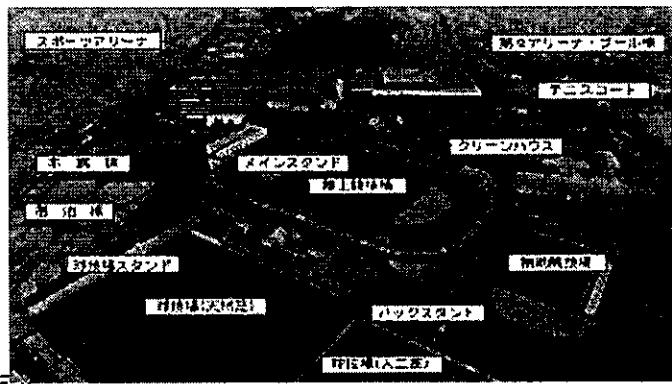
実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○アスリートの育成 (スポーツ局、教育局)					
アスリートの育成支援					
かながわ部活ドリームプラン 21 versionⅢによる取組みの実施					
ナショナルトレーニングセンター拡充施設の誘致					
○体育センターの 再整備 (教育局)					
再整備工事の実施					
○相模湖漕艇場の 整備 (スポーツ局)					
2 kmコース他の整備の実施					
○伊勢原射撃場の 整備 (スポーツ局)					
ライフル射 場の電子標 的への更新					

## 体育センター再整備

### 【主な競技施設等の概要】

#### ○第2アリーナ・プール棟

- ・パラスポーツの活動拠点となるアリーナや多目的パラスポーツ練習場を整備します。
- ・水泳競技者等の練習拠点となる屋内50mプールを整備します。
- ・専門競技種目(ボクシング、フェンシング、ウェイトリフティング)の練習場を整備します。



#### ○宿泊棟

- ・競技団体や学校部活動の合宿などが可能となる全室バリアフリーの宿泊施設を整備します。

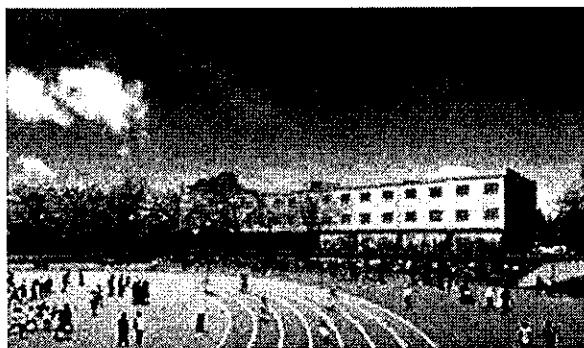
#### ○球技場・補助競技場

- ・球技場2面(クレー、天然芝)のうち、クレー球技場を人工芝化します。
- ・補助競技場の走路を全天候型舗装するとともに、インフィールドを人工芝化し、夜間照明設備の設置を行います。

### 【完成イメージ】



第2アリーナ・プール棟



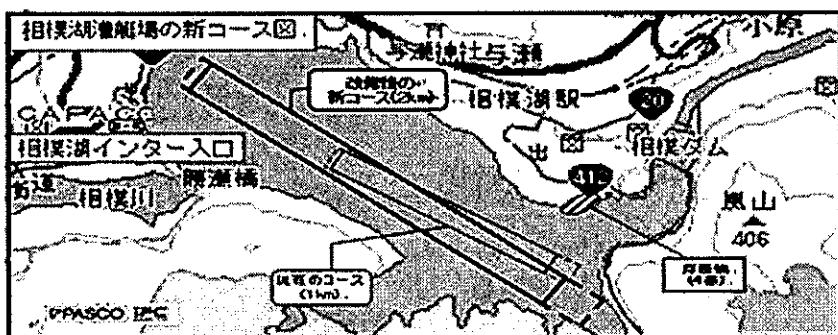
宿泊棟

## 相模湖漕艇場の整備

### 【主な整備内容】

#### ○ 2 kmコースの整備

- ・現行の1 kmコースから2 kmのボートコースへの整備をします。



#### ○ 浮桟橋の整備

- ・老朽化したボート乗艇用浮桟橋の整備をします。

#### ○ 救助ボートの整備

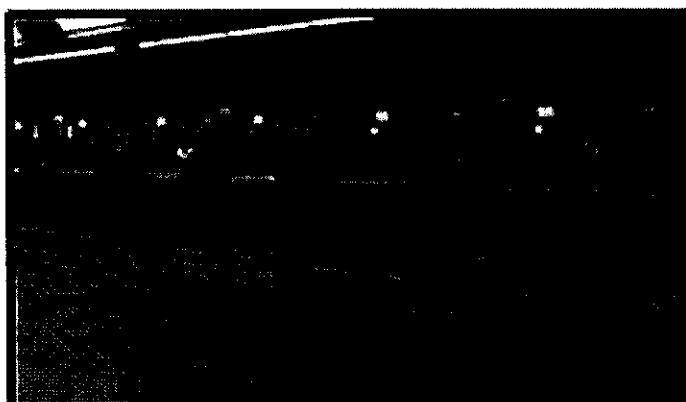
- ・大会時には審判艇などとして活用する、老朽化した救助ボートの更新をします。



## 伊勢原射撃場の整備

- #### ○ 事前キャンプや全国規模の競技大会の誘致を行うため、ライフル射撃場エアライフル射場の紙標的 26 台を電子標的に更新します。

#### 【伊勢原射撃場 エアライフル射場】



#### 【電子標的】

標的に取り付けられたセンサーにより、標的面を通過する弾の通過位置(点数)を瞬時に検出、計算してモニターに表示するシステムです。「ライフル射撃場の公認に関する規程」の変更により、全国大会・国際大会を行う射撃場への設置が必須となっています。

## ナショナルトレーニングセンター（NTC）

- 国の「スポーツ振興基本計画」等に基づき設置された、トップレベル競技者の国際競技力の向上を図るための施設で、現在は東京都北区に「味の素 NTC」が設置されています。
- 各競技の専用トレーニング拠点を持つことで国際競技力の向上を図りやすくなり、また、複数競技のトレーニング場を一箇所に集約することで、競技団体間の連携を積極的に推進できます。それにより、一競技団体での強化の限界を超えた成果をもたらすと期待されています。
- 味の素 NTC については、屋外や水上競技に係る施設がないなどの理由から、拡充施設の設置が必要となっています。
- 味の素 NTC では対応できない競技については、全国各地に「NTC 競技別強化拠点施設」が指定されており、味の素 NTC との連携により、国際競技力向上のためのトレーニング環境を整備しています。
- 現在、冬季、海洋・水辺系、屋外系競技を対象とした NTC 拡充施設の横須賀市への誘致を目指し、県は横須賀市と連携して誘致活動を行っています。

## II 大会を契機としたかながわプログラム

### 5 大会開催を契機としたスポーツ振興

#### (3) スポーツに親しむ環境の整備

##### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で豊かな生活ができる生涯スポーツ社会の実現を図ります。

##### (取組内容)

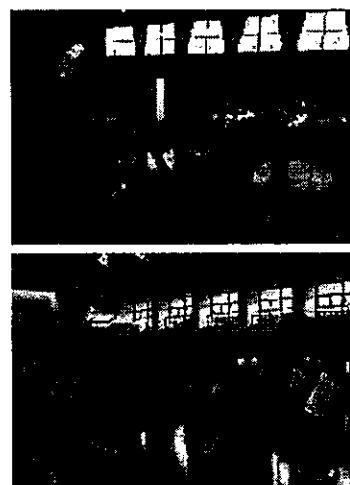
誰もがスポーツに親しめる環境づくりを実現するため、3033 運動や子ども☆キラキラプロジェクトなどを通して、スポーツを楽しめる機会の創出に取り組みます。また、スポーツボランティアの育成にも併せて取り組みます。

#### ① 3033 運動の推進

○市町村や、企業などと連携し、「日常生活の運動化」の考え方の普及に取り組み、1日 30 分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化する「3033（サンマルサンサン）運動」を推進します。

#### ② 子ども☆キラキラプロジェクト

○子どもの時から「未病を改善する」基礎をつくるため、体力・運動能力の向上、運動習慣の確立、生活習慣の改善を目的として、「体力向上キャラバン隊」の派遣や運動習慣カードの配付、健康・体力つくりの情報紙の配付など様々な取組みを行います。



子ども☆キラキラプロジェクトの様子

#### ③ スポーツボランティアの育成

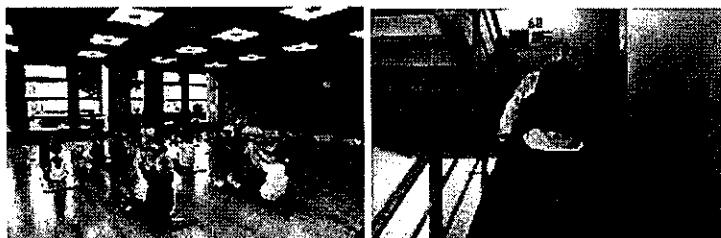
○県民誰もがスポーツに親しめる環境づくりを実現するため、県内で活動しているスポーツ団体を活用したスポーツボランティアの仕組みづくりに取り組むとともに、障がい者スポーツを支える人材を育成します。

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
○スポーツに親しむ環境の整備 (スポーツ局、教育局)					
3033 運動の推進					
子ども☆キラキラプロジェクトによる取組みの実施					
スポーツボランティアの育成					

### 3033(サンマルサンサン) 運動

- 県民の皆さんが、スポーツに親しみ、健康で明るく豊かな生活を送っていただけるよう、1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、習慣化していただく運動です。
- 県内各地でキャンペーンや講習会等を行っています。



3033 運動の様子





神奈川県

スポーツ局オリンピック・パラリンピック課 調整グループ 電話(045)285-0733(直通)  
横浜市中区日本大通1 〒231-8588 FAX(045)663-0113  
電話(045)210-1111(代表) 内線 2981